がん専門薬剤師認定試験問題　出題分野と例題

第 1 領域：がんの基礎　　6%（6 問）*

医療チームの一員として、医師等とコミュニケートするために必要ながんの疫学、統計、病期分類、治療計画、予後などに関する基本的な知識を問う。

【例題1】

2009 年におけるがんの死亡数について、正しいものを 3 つ選べ。 なお、データは国立がん研究センターがん対策情報センター「がんの統計」に基づく。

1. 全死亡数の第 1 位は肺がんである。
2. 全死亡数の第 2 位は大腸がん（結腸がん+直腸がん）である。
3. 男性の死亡数第 1 位は肺がんである。
4. 女性の死亡数第 1 位は胃がんである。
5. 40 歳代女性の死亡数第 1 位は乳がんである。

第2領域：がん薬物療法（ホルモン療法を含む）　　22%（22 問）*

医療チームの一員として、医師等とコミュニケートするために必要な臨床薬理、臨床試験、副作用と支持療法等の薬学的な基本的知識を問う。

【例題2】

分子標的治療薬の作用機序について、正しいものを 2 つ選べ。

1. ボルテゾミブは、NF-κB の活性化を阻害する。
2. ベバシズマブは、VEGF 受容体を阻害する。
3. ボリノスタットは、ヒストン脱アセチル化酵素を阻害する。
4. ゲムツズマブオゾガマイシンは、CD20 に作用する。
5. ペルツズマブは、PD-1 に作用する。

第3領域：各がん種における薬物療法について　　22%（22 問）*

医療チームの一員として、各がん種における化療の位置付け、ガイドライン（標準療法）等について、医師等とコミュニケートするために必要な基本的な知識を問う。

【例題3】

日本における胃がんの術後補助化学療法について、正しいものを 3 つ選べ。

1. 6か月間を原則とする。
2. 術後6週間以内に治療を開始する。
3. S-1単独療法は標準治療である。
4. 早期胃がんには行わない。
5. HER2陽性例にはトラスツズマブを用いる。

S-1：テガフール・ギメラシル・オテラシル配合剤
HER2：human epidermal growth factor receptor type2

第4領域：がん薬物療法における薬剤師業務　　9%（9 問）*

適正ながん化学療法を実施するための薬剤師業務に必要な知識と業務上の留意点を問う。

【例題4】

抗がん薬と総投与量上限の組み合わせで、正しいものを 2 つ選べ。

1. イダルビシン　－　600 mg/m^2
2. エピルビシン　－　900 mg/m^2
3. ピラルビシン　－　300 mg/m^2
4. ドキソルビシン　－　500 mg/m^2
5. ミトキサントロン　－　800 mg/m^2

第5領域：医薬品情報　　27%（27問）*

専門薬剤師として必要な、抗がん薬の個別知識を問う。例えば、適応癌腫、禁忌、相互作用、副作用、空腹時投与、腎障害時等の特殊ポピュレーションへの対応など。

【例題5】

Infusion reaction を防ぐための前投薬が必要な薬物を 3 つ選べ。

1. セツキシマブ
2. パニツムマブ
3. ベバシズマブ
4. モガムリズマブ
5. ゲムツズマブオゾガマイシン

第6領域：緩和医療　　4%（4 問）*

疼痛緩和における薬物療法の基本的な知識を問う。

【例題6】

オピオイド鎮痛薬の代謝について、正しいものを 2 つ選べ。

1. モルヒネは主に CYP3A4 により、代謝される。
2. モルヒネ代謝物である M6G は、腎機能障害時に蓄積しやすい。
3. レミフェンタニルは、フェンタニルの代謝物である。
4. コデインは、CYP2D6 でモルヒネに代謝される。
5. フェンタニルは、アゾール系抗真菌薬との併用で代謝が亢進する。

第7領域：総合問題　　10%（1 症例 2 問、計 10 問）*

提示された症例から、専門薬剤師として必要な総合力を問う

【例題7】
以下の症例に関する設問に答えなさい。

71 歳、女性。検診で異常検査値を指摘され、精査の結果、多発性骨髄腫と診断され、MPB 療法が開始されることになった。

MPB：メルファラン＋プレドニゾロン＋ボルテゾミブ

問 1. 治療開始の指標となる検査値はどれか、正しいものを 3 つ選べ。

1. 血清 IgG
2. 血清総蛋白
3. 血清カルシウム
4. 血清クレアチニン
5. 血清ヘモグロビン

問 2. この治療法で注意すべき副作用の対策について、正しいものを 2 つ選べ。

1. 問診では空咳に注意する。
2. 定期的に心臓超音波検査（心エコー）を行う。
3. アプレピタントの予防投与が推奨される。
4. 定期的に血圧の確認をする。
5. 静脈内投与より皮下投与の方が、末梢神経障害が少ない。

*各領域の問題数は目安である。